



サイバーセキュリティの置き薬

平成30年
第7号

偽サイトや詐欺サイトに注意！ ～「ふるさと納税」偽サイトが増加！～

偽サイト・詐欺サイトとは

「偽サイト」とは、実在する企業になりすましてショッピングサイトを作成し、利用者からお金を騙し取ろうとするサイトのことです。

「詐欺サイト」とは、他のサイトでは売り切れているような商品を掲載したり、商品の価格を安くしたりして、購入意欲をあおり、お金を騙し取ろうとするサイトのことです。

特に「ふるさと納税」の偽サイト

ふるさと納税の返礼品の送付を騙る情報を掲載し、寄付金を騙し取る悪質なサイトが確認されています。

ふるさと納税の締切日である年末が近づいてきており、被害の拡大が懸念されます。



偽サイト・詐欺サイトは、インターネット利用者が商品を検索した際に上位に表示されるよう細工され、目に付くようになっていることが多いことから、次の【注意すべき点】を参考にしてください。

【注意すべき点】

○不自然な日本語がないかを見る！

日本語になっていない文字列や全商品が「セール」や「値引き」されているなど不自然な点はないか？

特に「ふるさと納税」の制度で、寄付金が割引になったり、寄付金を個人口座に振り込ませることはありません。

○振込先口座に注意する！

振込先口座名義人が個人名や外国人名になっていないか？

もし個人名等であれば、インターネットで検索してみたり、評判を調べてみたり、連絡先がある場合は直接確認していただく必要があります。

○支払い方法に注意する！

料金の支払い方法が、前払いの「銀行振り込み」しか対応していない。

「代金引換」や「後払い」などできるだけ安全な方法で支払いを選択する。



※サイバーセキュリティの置き薬とは

富山の薬売りで親しまれている「置き薬」になぞらえて、皆さんのサイバーセキュリティ対策の助けとなる様に情報を発信していくものです。